

わたしの進む道。

企業との共同研究から見てくるものがある。
研究と向き合う中でいつも新しい発見があり、ワクワクする。
好奇心旺盛な私には、理工系が合っていると思う。

Interview with **YURI KATO**

Vol. 02



YURI KATO

加藤 優梨

環境都市工学部

エネルギー・環境工学科 4年次生

PERSON

大学に入って、何事にも全力で取り組むと決めた。
その信念は変えずに笑顔で研究を続けていきたい。

「知らないことを知るのが好きで、この環境が合っています」と笑顔で語る姿が印象的な、環境都市工学部エネルギー・環境工学科4年次生の加藤さん。所属するプロセスデザイン研究室では、総務として全体を取りまとめる役割もこなしながら、研究に取り組む多忙な日々を送っています。

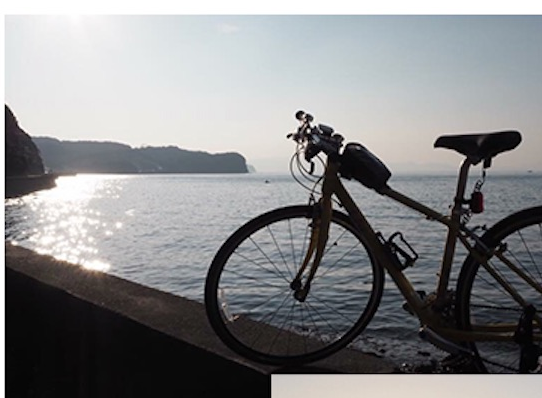
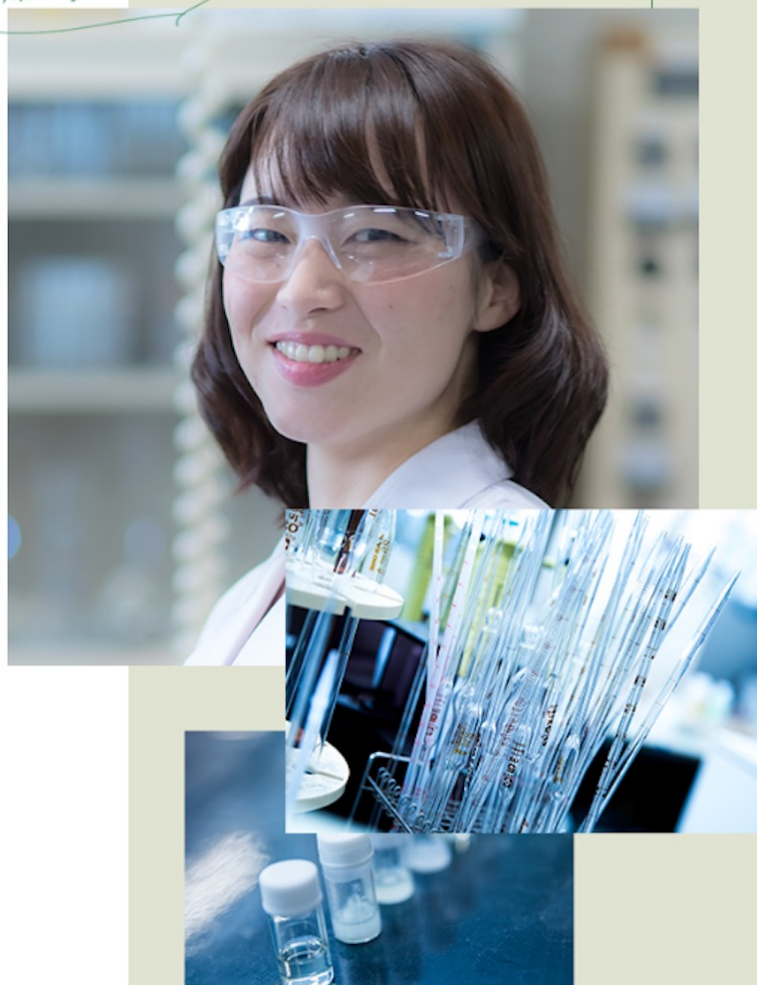
理工系はどの分野も面白く、奥が深い。
私の研究も可能性にあふれています。

高校では理工系学部をめざしている女子が周りに多くいたので、特にためらうことなく理工系に進みましたね。薬学や建築系などを含め幅広い分野を見てかなり迷いましたが、エネルギー系や、化学物質を生産するプラントの設計という分野も面白く感じていた学科を選びました。

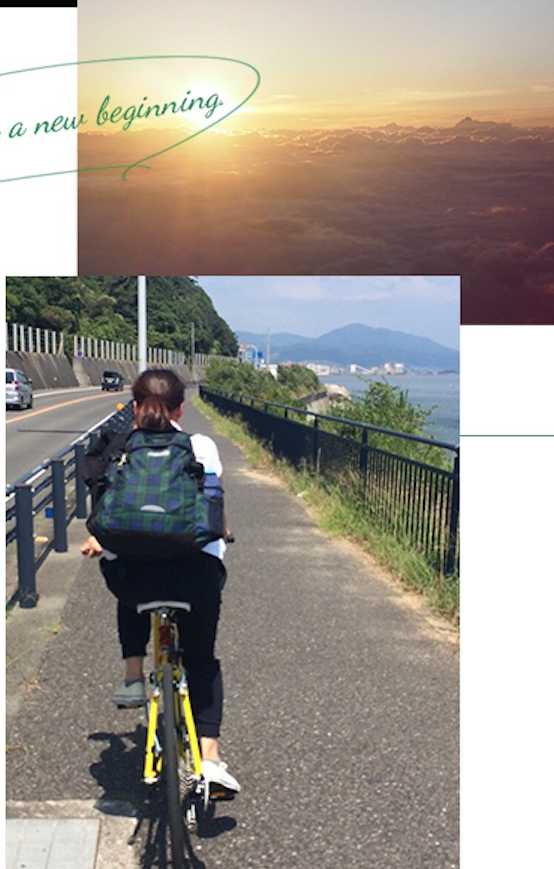
現在は4年次で大学院進学を控えており、研究室に通う毎日過ごしています。一口に理工系や環境・エネルギーといっても、その中で分かれている分野にはどれも面白いところがあり、研究室に入る段階ではどの分野を突めていくかを決めきれないほどでした。悩んだ末に私が選んだのは、環境にやさしい新しい機能性材料の開発をめざす研究室。溶解度パラメータ（SP値）を用いて、どうすれば物質と物質が溶け合うのか（相溶性）について研究しています。SP値はものづくり全般に活用される、相溶性を評価するための新しい指標で、化学工業において素材選びや組み合わせ方を考える上で重要になります。去年の春から基礎研究をしてきて、いまは応用研究の段階。分子構造とSP値との関係を模索しています。大学院に進んでもこの研究室に残り、より本格的な研究を進めていくつもりです。

ADMISSION

Make your own path!



Every day is a new beginning.



平日は研究室で研究に取り組み、
休日はアクティブに過ごして気分転換。

研究室では、多くの企業と共同研究に取り組んでいます。SP値への相談内容は、企業が抱えている問題をSP値の概念を用いて解決できないか？というもの。この研究は企業の今後にもかかわって責任重大ですし、その数がとても多くて、それだけ私たちの研究が社会に求められていると実感できます。もちろん忙しいのですが、忙しさも含めて私にはこの環境が合っていると思います。研究室に所属する37人のうち女子は4人と少ないですが、皆自立した性格なので、男女分け隔てなく研究室全体でのつながりがあります。プライベートでは、休日に家族と旅行に行ったり、趣味のクロスバイクに乗って遠出をしたりしています。クロスバイクは大阪から京都や淡路島にまで行くこともあり、結構本格的に楽しんでいます。景色を眺めていると良い気分転換になりますね。また、研究室の仲間と富士山に登ったこともありました。みんなと雲海を見下ろしながら日の出を見たときの感動をいまでも覚えています。

CAMPUS LIFE

FUTURE

Prospects for the Future

“好き”が詰まった理工系のフィールドで、
自分の知識や技術を社会に役立てたい。

高校までは進路に悩んだ分、大学に入ってから迷わずに、何事にも全力で取り組もうと決めました。1、2年次はさまざまな分野の講義を受講し、化学工学の分野の中で自分に合うものを探していました。自分の向き不向きを最初から決めつけずに、まずは学んでみることを大切に過ごしていましたね。結局、自分に合うものが見つかったというよりは、苦手なものや合わないものが分かってきました。遠回りかもしれませんが、今後さまざまな分野を勉強し、研究して、大学院を卒業するときには「これだ」というものを見つきたいと思っています。これまでは、医者や建築家など、何かになりたい自分がありました。でもいまは、自分の得意なことでも社会の役に立てるようになりたいと思っています。そのために必要な知識や技術を身につけるべく、日々新しいことに興味を持ち、挑戦を続けていきたいです。

理工系をめざしている女子の方にはぜひ、臆せずに自分のやりたいことをやってみてほしいですね。特に女子はさまざまな生き方を選べて、将来の道筋を立てるのが難しいのではないかと思います。それでもあきらめずに動いてみることで、道が開けてくるはずです。たとえ明確な夢を持っていないでも、面白いと思う気持ちを大切にすれば成長していけると思います。